

学年だより



NO.53

荒川区立
南千住第二中学校
第二学年
令和3年11月17日

霜月祭を終えて… 作文 ～1組～

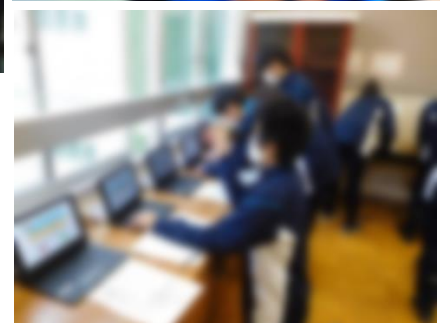


コロナの存在を感じさせないくらいみんな一生懸命頑張ったと思います。自分たちに拍手。

片目の大緋鯉のほりこの御輿と製作映像が印象的でした。なぜなら、自分が大緋鯉の製作に関わっていたからです。御輿は例年のよりもデザインが丸く、よくできていると思います。製作映像は十日間の製作が倍速になっていて、どんどん大緋鯉の御輿が完成されていくのはとても感動しました。(Y.K)

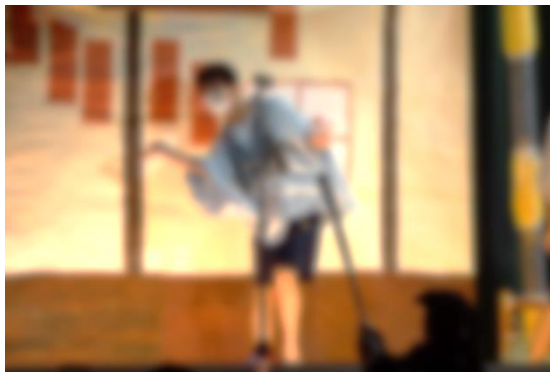


僕はこの霜月祭で自分の直すべき場所が二つ見つかりましたが、自分が良くなったという所が一つ見つかりました。それは、周りの人を少し気遣うことができるようになったところです。自分の小道具制作が終わった後に、周りの人の作業を積極的に手伝うことができました。僕は霜月祭や行事は自分の悪い所を見つけて改善するためのチャンスだと思います。(R.S)



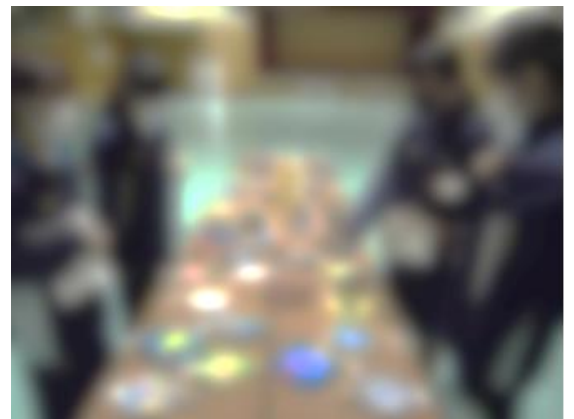
今回の霜月祭を、私は舞台に出た人だけではなく、一人一人が活躍した霜月祭だと思います。

私はみんなに、出来た絵を見てほしいという一心で作業をしました。皆さんの手形を取っているときのわくわくとした顔を見て、より頑張ろうという気持ちが増しました。そして霜月祭当日、ドキドキとした気持ちで朝をむかえました。ちゃんとみんなに喜んでもらえるだろうか…？という気持ちで頭が一杯でした。ですが、一緒に展示作品を見ていた友達がハンドアートを見た時、「すごい!!自分の手形もあった〜!」と嬉しそうに言ってくれたとき、とてもうれしい気持ちになりました。それと同時にハンドアートプロジェクトをしてよかったという気持ちになりました。(M.S)



大道具製作をなんとか終わらせた時、私は達成感でいっぱいでした。一日目のぐだぐだな状態からここまで終わらせることができたからです。その時私は、どんなにひどくても、どんなにぐちゃぐちゃでも、目をそむけたらそれは絶対に終わることはなく、よく目をむけることがすべてにおいて大事なんだなと思いました。すごく勉強になりました。(K.H)

展示のときに流されていた大緋鯉の動画や、霜月祭の最後に流れていた動画の中に、色々ながんばった人達がいる中、たまにながれてくる大緋鯉で自分が作っている姿があると、やっぱりこれ私もつくっていたんだととてもうれしかったです。大緋鯉制作にして良かったなとあらためて感じました。今回の霜月祭、劇も生で見れてとてもはくりよくがあったし、とても言葉で表せないほどおもしろくて、楽しい霜月祭になりました。(R.M)

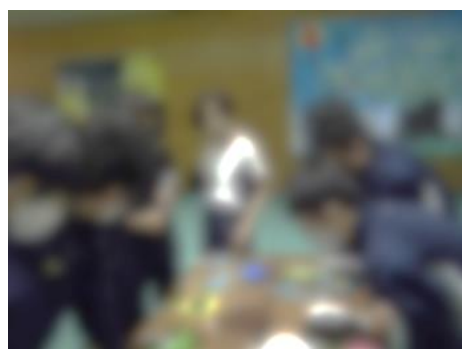


全校生徒で霜月祭をやれたことがとてもとても嬉しかったです。

こういう行事でしか他学年と関わることがないので、今回一年生と少し仲良くなれた気がします。やはり先輩なのでしっかりしないとと思ってしまいましたが、頼られるとちょっと嬉しくて一年生とたくさん会話ができました。もっとお話したいなと思いました。(S.S)



1組
文化祭実行委員
OOOOさん
OOOOさん

An illustration of a student with arms raised in celebration, next to a pink confetti popper.

学年だより



NO.53

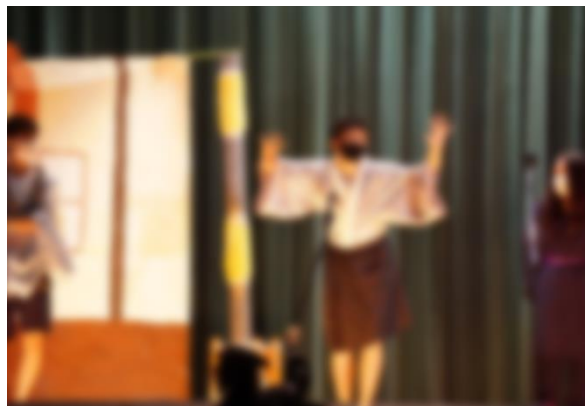
荒川区立
南千住第二中学校
第二学年
令和3年11月17日

霜月祭を終えて… 作文 ～2組～

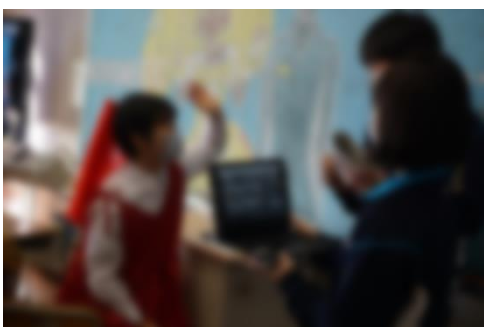


裏の人の大切さや、人のために
頑張るということを知れた気が
しました。

僕は歌や曲を聞くのが好きで、吹奏楽部の演奏を楽しみにしていました。僕は毎回三年生のソロでの演奏がかっこよくて好きです。今回も三年生の演奏がかっこよくて良かったです。他のみんなで演奏する所も、そろっていてきれいでした。(R.S)

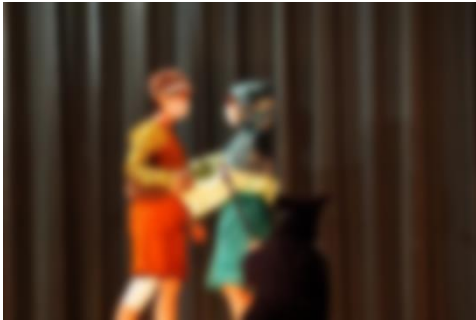


阿部さんが普段学級委員をしている人には見えず、自分のからをやぶっていてすごいなと思ったとしても面白かったです。(R.S)



本番一週間前になってアリーナで練習したり台本なしでやったりしたときには、もう不安な気持ちはほぼありませんでした。みんなが工夫してやったアドリブなどがすごくおもしろくて緊張より笑いをこらえるのにひっしでした。練習の時間がただただ楽しくて本番が楽しみでした。(H.M)

知らない人同士でもこのように
関わり合くと仲が深くなれると
いう事が分かりました。



一番心に残った作品は、パソコンのゲームで、スマホやゲーム機などでプレイするゲームと似ていて、こんなゲームを作ってしまうなんてとてもすごいなと思いました。次にすごいなと思ったのは、大緋鯉です。いつも帰りぎわに作成する所を見ていたんですが、まさかあんなクオリティの高い作品ができるなんて思っていなかったのでもとてもびっくりしました。色づかいがとてもきれいで、すごかったです。(K.K)

まじでこの大緋鯉
壊すなよと思う。い
ろんな人と人とで
できた物だから。



完成した大緋鯉の御輿をかついで歩いている時、みんなの想いが伝わってくるような気がしました。私は始め、霜月祭にどんな意味があるのかとネガティブな気持ちでいましたが、今回の大緋鯉の制作を通して、集団生活の中で人と人とが団結し、同じ目的を達成する大切さに気づきました。そして霜月祭の本当の意義を見つけることができました。(Y.M)



私は霜月祭で照明係として仕事して、本番を終えてから心の底から楽しかったと思えた仕事だった。劇に必要な大切な仕事、そしてキャストの人たちを支えてあげられる仕事だと私は思った。そんな仕事をやらせてもらえたことをありがたく思う。またこの霜月祭だけでなく、他の仕事や日常生活でも、やりがいを感じれる瞬間というものたくさんある。この霜月祭を生かして私はこれから人に感謝されるような人になりたいと思う。(H.O)

本番までの準備期
間も全力で取り組
んで楽しんだほう
が、当日はより楽
しめるということ
を学びました。



2組
文化祭実行委員
〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん

学年だより



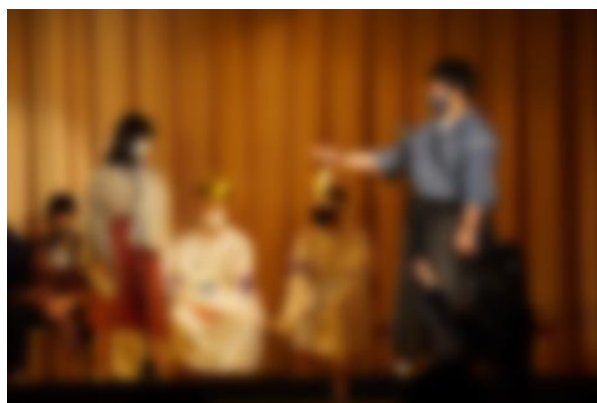
NO.53

荒川区立
南千住第二中学校
第二学年
令和3年11月17日

霜月祭を終えて… 作文 ～3組～



例年よりは縮小版でも、こんなに楽しい思い出を作ることができて本当によかったです。



劇に出るのは最初はちょっとはずかしかったけど、練習していくうちにそのはずかしさが消えて皆を笑わせようと思うようになりました。そして本番、円陣を組んで劇を行ないました。劇は大成功しました。僕は劇

が終わったあと「この学年で良かった」とすごく思いました。(K.I)

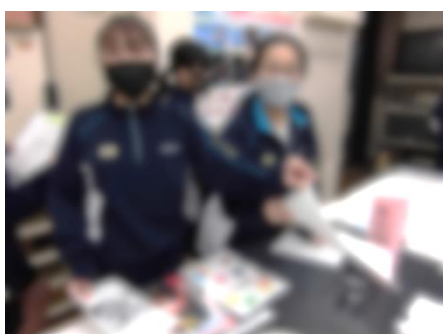
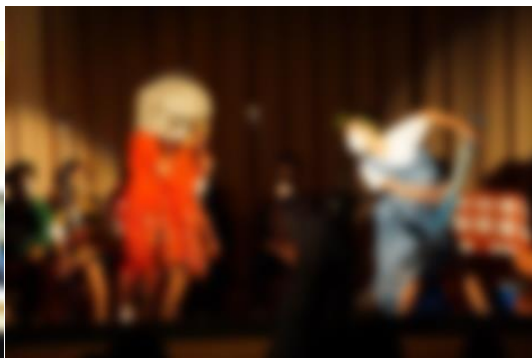
毎日が忙しく、充実していました。



僕は、大道具の係で魚屋の絵を描く時に、これが果たして、二週間で終わるのか不安でした。ですが、何か分からないですけど、みんなでやればできる気がして、期限までにきれいに仕上がりました。今回のことで学んだことは、協力がすごく大切なことだということと、仲間はとても大きい存在で、同じ目標に向かって走っていくときいくつもの障害物があるけど、そんなものも仲間と一緒に乗り越えられるということです。

(R.K)

レスキュー部の報告では東日本大震災を経験した人に話を聞いたり、JRCのリーダーシップチャレンジについて紹介していました。東日本大震災の活動報告については、自分は当時、震災を経験したときは四歳だったので、あまり記憶に残っていませんでした。今回の活動報告をきいていて、改めて当時の被害はとてもひどかったんだなと思いました。南海トラフの地震や、東京での首都直下型地震に命を守るためにしっかり備えなければならないなと思いました。(K.I)



私はもともと舞台などに立つのが得意ではありません。いつも舞台に立つとセリフを忘れてたり、動きを忘れてしまいます。はじめは断ろうと思っていました。しかし、苦手なことから逃げてはいけないと思って挑戦することにしました。何度も台本を読んでセリ

フを覚えたり、鬼太郎のアニメを見たりしました。結果は自分ではセリフも動きも忘れずにできたと思ってとても満足しています。(S.K)

たくさんの制限がされている今だからこそこの霜月祭をやれた喜びは大きかった。

大緋鯉が点睛された瞬間、伝説探究部の部員二十四人に加え、第二学年の生徒、先生方、天野さんなど、たくさんの人たちが感動してくれていたと思います。私たちは力を合わせれば、こんなにもたくさんの人を感動させることができるのだな、と実感しました。あの大緋鯉に乗せたみんなの願いが叶えられるように、片目の大緋鯉は私たちを見守ってくれていると思います。(S.S)



3組

文化祭実行委員

〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん



学年だより



荒川区立
南千住第二中学校
第二学年
令和3年11月17日

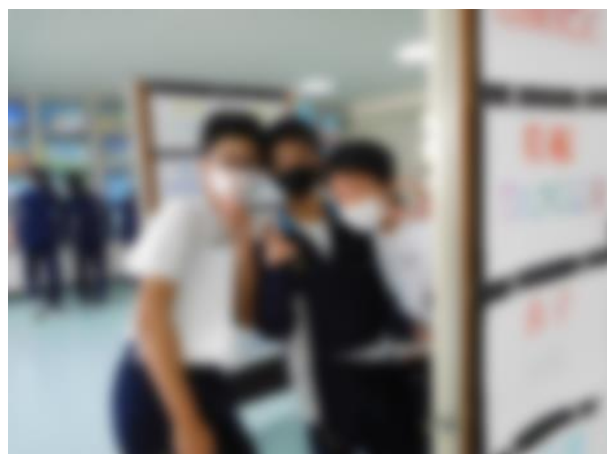
霜月祭を終えて… 作文 ～4組～



みんなで協力して作った霜月祭
はとても達成感を感じました。



二年生の劇は、練習中に何度も見ていたので、「内容も知ってるし楽しめるかな…」と思っていたけど、練習のときより、何倍も面白くなっていて、初見じゃなくても楽しめました。あと、台本を知っているからこそ面白いアドリブもたくさんあって、即興なのに本当にすごいと思いました。(C.N)



楽しませる人がいるからすてきな行事ができると思いました。実行委員や生徒会の方はもちろん、劇に出る人、小道具などを作ってより良くする人など、みんなで楽しい霜月祭を作り上げようと思ったのですてきな霜月祭になったと思いました。来年もみんなが楽しむ霜月祭にしたいです。(R.T)

「〇〇さんの演技面白かったね。」「△△さんって絵上手だね。」というように南二中の中で「霜月祭」という新たな話題ができましたと思います。



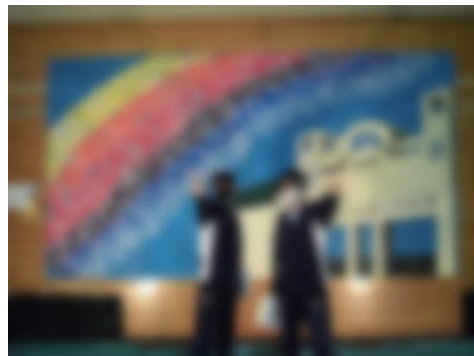
衣装係は常に仕事に追われてしまうくらい大変な作業の連続でしたが、総合でみれば大変さよりも楽しさが上回っています。本当に楽しい時間でした。大変な作業は確かに多いですが、仲の良い友達と力を合わせて何かをつくることはとても楽しいです。自分一人では思いつかなかった発想をきけることができ、そこからさらに自分のアイデアを膨らませていくことの楽しさがよく分かりました。だから私は「もう衣装係なんてやりたくない！」と弱音を吐いてしまうことはなかったし、そんな言葉は私の頭の中で思いつきませんでした。(K.T)

「わたしは飛鳥大神。」去年に引き続き、劇でメインキャストの神1に選ばれてしまった僕は「またスベらないといけないのか…」という気持ちと「今年で笑いを取って挽回するチャンス!!」という気持ちを抱えた状態で準備に入ることになりました。去年は凍え死んでもおかしくない格好で外に出てビデオ撮影をしたあげく、ことごとくギャグがスベリ、今年の神3人は「スベってなるものか」と不安がある中、気合を入れてやろうと思っていたでしょう。(A.T)



人が多いと協力するのは大変だけど、その分楽しかったです。

私は今まで、人前で話せるようになると、委員長に立候補したり弁論で頑張ったり積極的にチャレンジしていきました。だけど、その度に緊張してしまいます。だから私は今回の霜月祭でメインキャストを終えて、人前で緊張せずに話すこと、物事に臨機応変に対応できるようになりたいと思いました。(A.N)



4組
文化祭実行委員
〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん



各係の集合写真

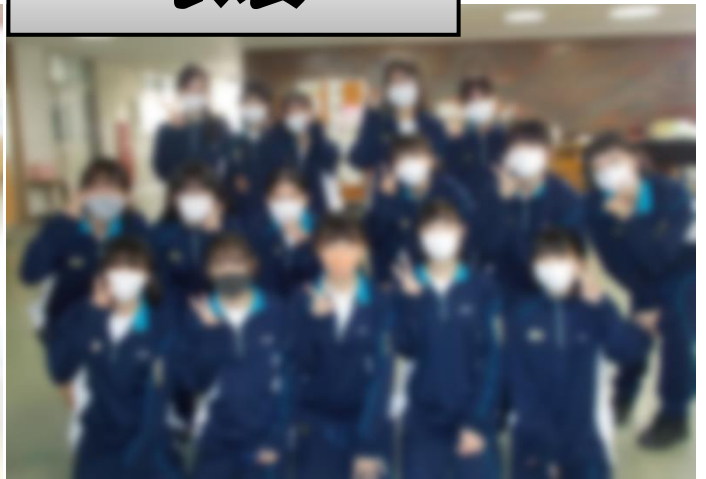
キャスト



音響・照明・撮影・ 記録・マイク



衣装



大道具



小道具



霜月祭の思い出写真

(3年生の先輩方が書いてくれた感想も掲載しましたので、ぜひお読みください！)

